

令和元年度 施策評価検証シート

評価年月日 令和元年8月27日

		部会名		しごと部会	
施策No.	1-6-2	施策名	勤労者福祉の向上	施策主管課	商工労政課
施策の目指す姿	安心して働ける環境が整っています				

■施策評価シート(平成30年度実績評価)について

「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。
機能している。

「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。

的確に行われている。ただし、「新たに取り組むべき事業はないか」での記述は抽象的であり、促進する事業の中身について具体的に、例えば、支援制度の充実(週休二日制の導入支援、有給休暇取得促進など)記述した方がよい。

「3 成果指標の達成状況」の「(達成状況に関する背景・要因)」の分析が的確に行われているか。

的確に行われている。ただし、市民アンケート回答者の属性(60歳以上の割合が高い)を考慮しても、成果指標としては不十分である。商工労政課が実施している労働実態調査結果に基づく成果指標を新たに加える方向で検討してほしい。

「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。

「課題」として、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業が少ないことが挙げられ、「今後の方向性」として、取り組む企業を増やすことが挙げられている。取り組む企業を増やすためには、取り組む企業が少ない理由を具体的に明確にする必要がある。例えば、十分な福利厚生を提供できているから、市の支援制度を利用する必要がないので少ないのか、十分な福利厚生を提供できていないが、利用すべき市の支援制度メニューがないので少ないのか、など。後者であれば、具体的な支援制度の充実を図りながら、取り組む企業を増やすことができるようになるであろう。

●シート記載内容全般について

企業経営者の意識改革、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)等の記述はあるが、抽象的である。企業経営者のどのような意識を改革するのか、どのような福利厚生が充実すると仕事と生活が調和するのか、具体的な記述があったほうがよい。商工労政課が実施している労働実態調査をもっと利用したらどうか。